



B i t u r b o H

給気連動対応センターフード

TRBT - L240CJ

取付・設置説明書

もくじ

・ 安全上のご注意	1 ~ 2
・ 取付・設置上のご注意	2 ~ 3
・ 取付・設置前の準備	3 ~ 4
・ 同梱品の確認	5
・ 別売部品／トラスフレーム計算式	6
・ 排気ダクトの穴あけ位置	7
・ 製品の取付け	8 ~ 15
・ 製品寸法図	16
・ 取付・設置後の点検・清掃	裏表紙

安全上のご注意

必ずお守りください

取付・設置の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく行ってください。

■表示内容を無視して誤った取付・設置をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 警告	この表示の欄は「 取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度 」をいう。
 注意	この表示の欄は「 取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度 」をいう。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	このような図記号は、製品の取扱いにおいて、 その行為を禁止する 図記号です。
	このような図記号は、製品の取扱いにおいて、 指示に基づく行為を強制する 図記号です。

!**警告**

仕様変更・改造は絶対にしないでください。



分解禁止



火災・感電・ケガの原因となります。

取付壁面が金属板張りの場合は、フード本体および、換気扇と金属板とを電気的に接触させないように取付けてください。



漏電した場合、火災の原因となります。
(電気設備技術基準第182条)

メタルラス、ワイヤラス、または金属板張りの木造物に金属製ダクトを貫通させる場合、メタルラス、ワイヤラス、金属板と電気的に接触させないように取付けてください。



漏電した場合、火災の原因となります。
(電気設備技術基準第182条)

本体とダクトは、可燃物との間を10cm以上離すか、不燃材料を使用して可燃物を覆ってください。



火災などの原因となります。
詳しくは所轄の消防署に問い合わせてください。

D種接地工事を行ってください。

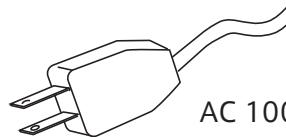


故障や漏電の時に感電する恐れがあります。
アース線は工事側で手配してください。

交流100V以外で使用しないでください。



使用禁止



AC 100Vのみ

火災・感電の原因となります。

⚠ 注意

配線工事は、電気設備技術基準や内線規程に従って確実に行ってください。



誤った配線工事は、漏電、感電や火災の恐れがあります。

本体は十分強度のあるところにしっかり取付けてください。



取付注意

落下により、ケガをする恐れがあります。

部品は確実に取付けてください。



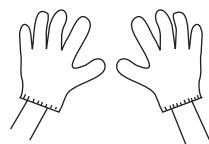
取付注意

落下により、ケガをする恐れがあります。

製品を取り扱う時は、必ず保護手袋をしてください。



手袋着用



切断面に触ると、ケガをする恐れがあります。

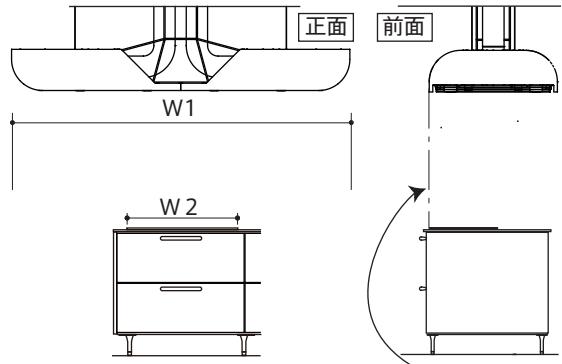
取付・設置上のご注意

1. 建築基準法（同施工令）および消防法等の関連法規に従って取付けてください。

2. 本体の壁への埋め込みは絶対におやめください。

3. 周囲温度が40°C以上になる場所には取付けないでください。
火災・感電の原因となります。

4. 加熱機器の幅はレンジフードの幅以内のものをご使用ください。
加熱機器はレンジフードの前面より手前にはみ出して設置しないでください。排気効率が低下します。



W1
(レンジフードの幅) \geq W2
(加熱機器の幅)
加熱機器はレンジフードの前面からみ出さないように設置してください。

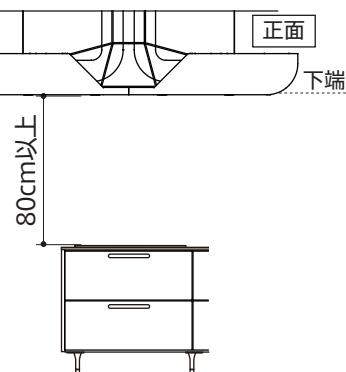
5. 屋外壁面の排気出口に取付けるベントキャップまたはパイプフードの通気抵抗は400 m³/h時40 Pa以下のものを使用してください。
防虫網付きのものは目詰まりして排気性能が低下する場合がありますので使用しないでください。

6. 指定サイズ（Φ150）以外のダクトや非常に長いダクト、あるいは極端に屈曲したダクトは排気効果をいちるしく低下させたり、騒音が大きくなりますので使用しないでください。

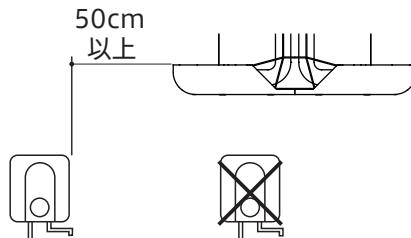
7. ダクトは室外側を若干下げて配管してください。

8. ダクトと排気口の隙間は、付属のソフトテープを使用して塞いでください。

9. レンジフードは加熱機器の真上に取付けてください。
なお、製品の取付け高さは、整流板の下端が加熱機器の真上80cm以上になるようにしてください。

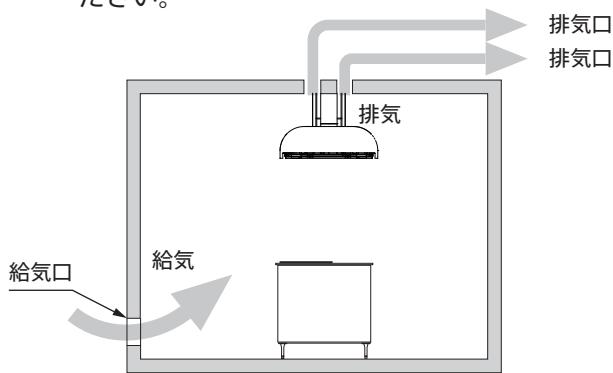


10. レンジフードの下には、絶対に湯沸器を取付けないでください。また、湯沸器を横に取付ける場合には、50cm以上離して取付けてください。湯沸器の真上は高熱になるため故障の原因となります。



11. 部屋の中央で料理する場合は油煙が捕集しきれない場合がありますので、全体換気のために他の換気扇と併用すると、より優れた換気ができます。
また、突発的に発生した油煙は漏れる事があります。

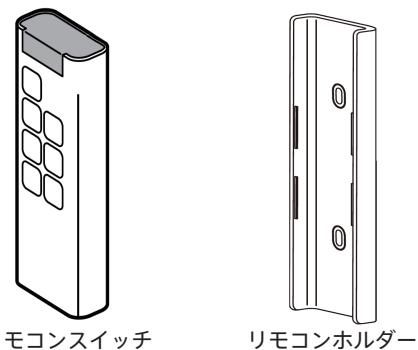
10. 効率よく換気させるため、排気口は2ヶ所設け、排気量に見合う大きさの給気口を設けてください。とくに自然排気型のストーブをご使用のときは、排気ガスが室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こすことがありますので、空気の取入口（給気口）により十分給気される配慮をしてください。



※外部への排気口はまとめずに必ず2ヶ所設けてください。途中で2つのダクトを1つに繋げたりすると給気効率が悪くなります。

※排気用ダクトの大きさ以上の給気口を排気口と対称の壁に設けると有効です。

11. リモコンホルダーの取付けに関しては、本体に同梱されていますリモコンセットの取付説明書をお読みください。



※リモコンセット

リモコンスイッチ：1個
リモコンホルダー：1個

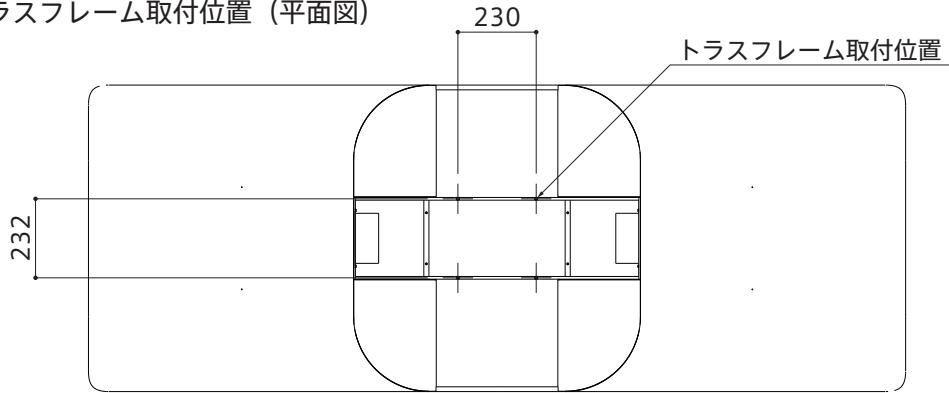
リモコン1個でレンジフードを運転するのに使います。

取付・設置前の準備

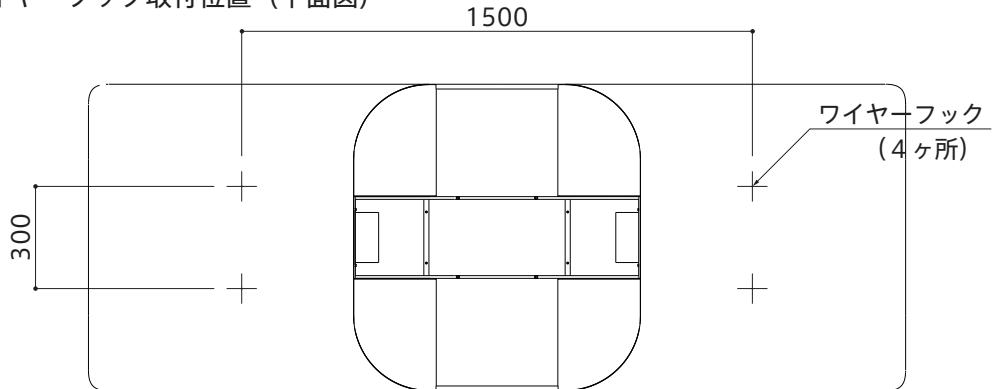
1. 取付棟の確認

- ・トラスフレームの取付位置に取付棟があるかを確認してください。
- ・ワイヤーフックの取付位置（4ヶ所）に取付棟があるかを確認してください。
- ・フード前面がキッチン前面に合うように設置してください。

■トラスフレーム取付位置（平面図）



■ワイヤーフック取付位置（平面図）

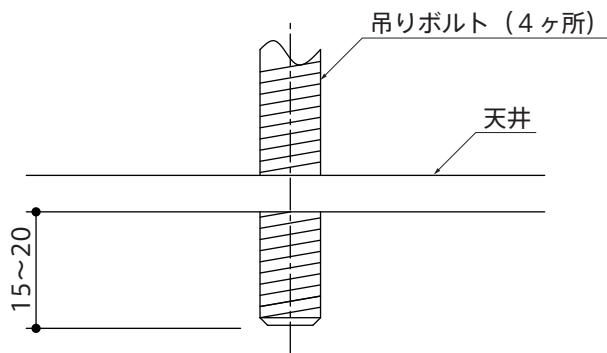


2. 吊りボルトの取付け

- ・トラスフレームのターンバッカル取付位置に合わせて、吊りボルトを垂らしてください。
※吊りボルトはM10を用いてください。
※吊りボルトの長さは天井から15~20mmの範囲としてください。
※吊りボルトは製品を支える十分な強さを確保してください。
必要となる強度は、建物の条件、耐震クラスなどにより異なります。

■製品質量

- フード本体 約83kg
- トラスフレームの質量は別売部品を参照ください。



3. 天井高さの確認

- ・製品下面から天井まで、450mm~2050mmの範囲で取付可能です。
(詳細については、「排気ダクトの穴あけ位置」を参照ください。)

4. 別売部品の準備

- ・排気工事に応じた別売部品の準備が事前に必要です。 (詳細については、「別売部品」を参照ください。)

5. 電源コンセント

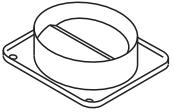
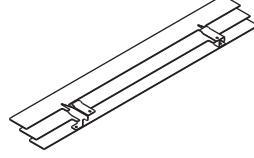
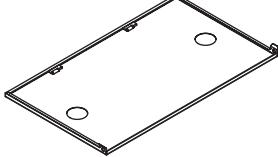
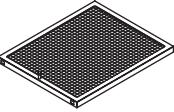
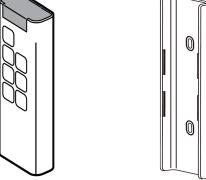
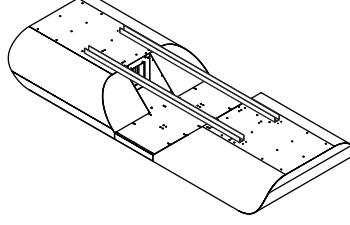
- ・電源コンセントは専用のものを設置してください。 (交流 単相100V)
- ・「アースターミナル付」アース線は、工事側で手配してください。

6. 給気シャッター

- ・給気シャッター (AC100V 出力50Wまで)

同梱品の確認

下記の部品が同梱されています。取付けを始める前に不足していないか確認してください。

部品名	形 状	数量	備 考
ワイヤーフック (+バインドタッピンネジ 3. 5×45 8本付属)		4個	
排気シャッター (ソフトテープ付属)		2個	
ルーバー		2個	
整流板		4枚	
グリスフィルター		2枚	
リモコンセット		1セット	リモコンスイッチ：1個 リモコンホルダー：1個
本体		1台	

別途手配してください。

・吊りボルト 8本 　・六角ナット 32個 　・ワッシャー 24個 　・スプリングワッシャー 32個

別売部品

換気フード

屋外壁面の排気出口に取付けるベントキャップ または
パイプフード。通気抵抗は $400 \text{ m}^3/\text{h}$ 時 40 Pa 以下の
ものを使用してください。



丸形フード (FUJI OH 製品)
VC-15H ※メーカー品番
VC-15DH ※メーカー品番

芯ずれ補正ダクト

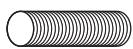
フード本体の排気位置を 30 mm 以内でずらして補正する
事が出来ます。



TR-TJD15

ジャバラダクト

直接排気の中間ダクト



FJ-15
TR-AD

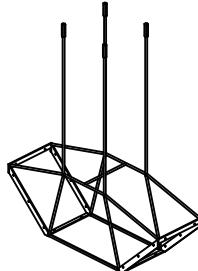
トラスフレーム

TR-HF75Z~200Z

□質量: 約 $4 \sim 6.5 \text{ kg}$ (長さによって変動)

□付属品

- ・十字穴付トラス小ネジM4×20 16本
- ・十字穴付トラス小ネジM4×8 4本



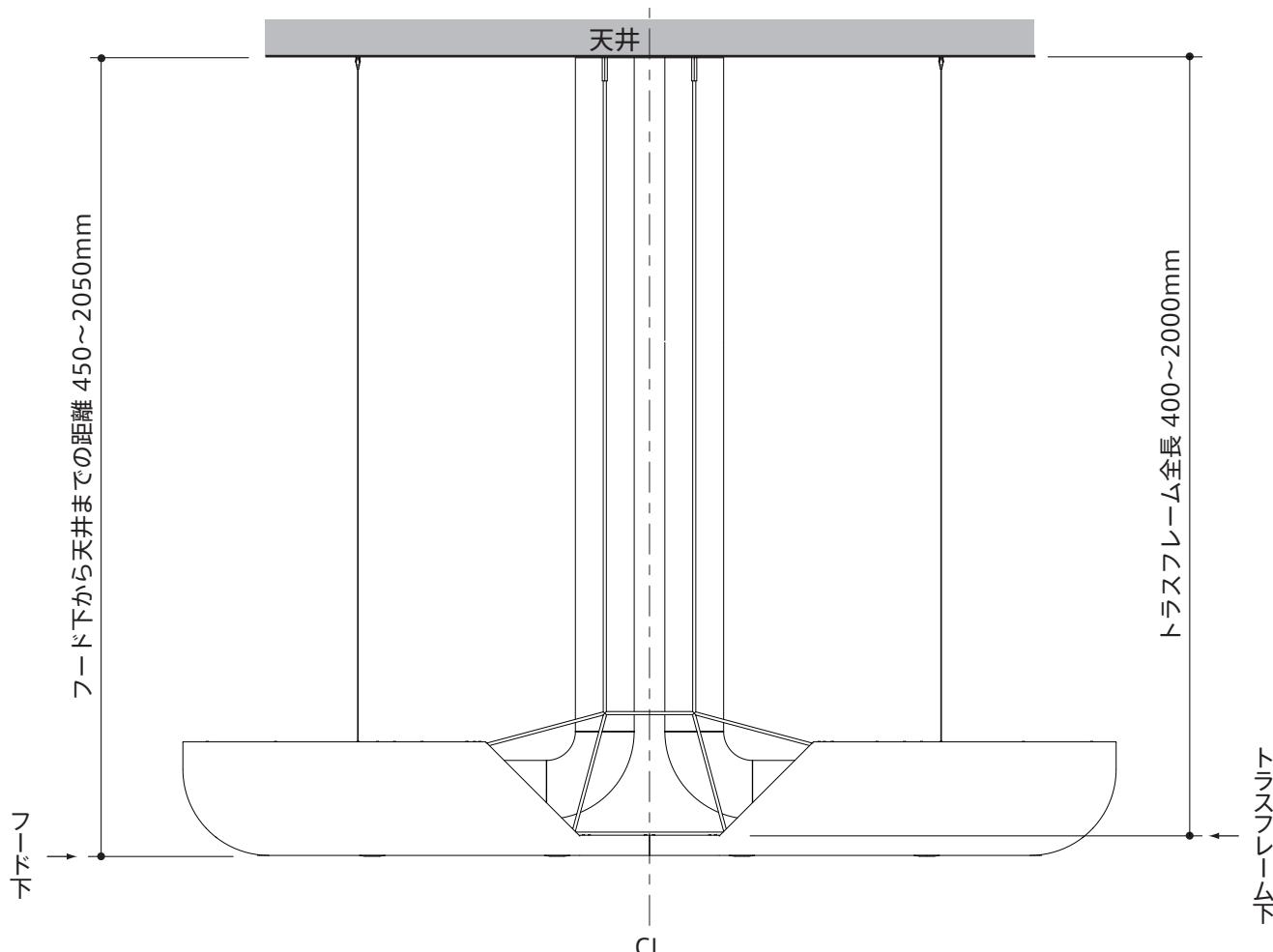
トラスフレーム計算式

※トラスフレームは、 $L = 400 \sim 2000 \text{ mm}$ までフリーサイズ対応となります。

- ・使用部材: トラスフレーム
- ・トラスフレーム計算式

トラスフレーム全長 = 全体高さ - 50 mm

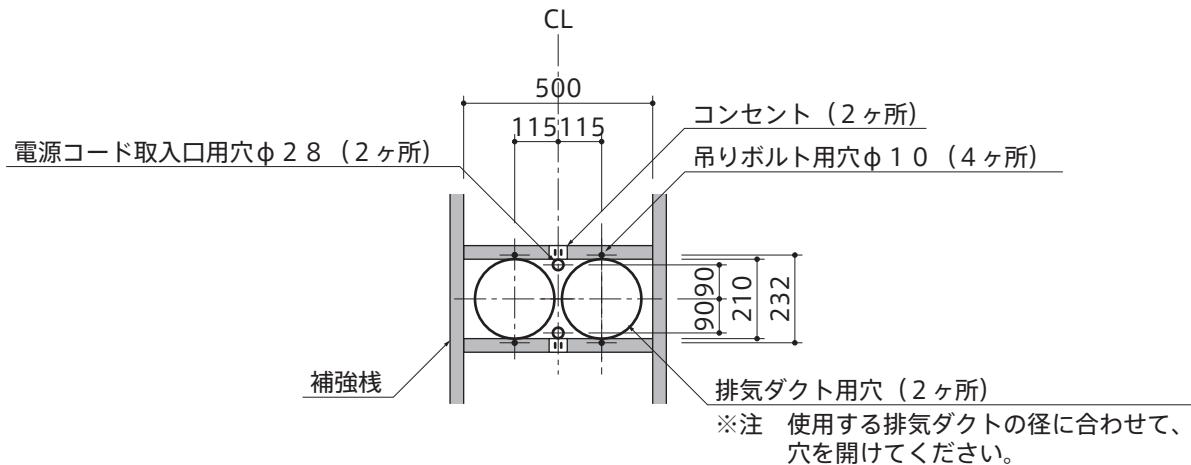
- ・取付可能範囲 フード下から天井までの距離 $\cdots \cdots 450 \text{ mm} \leq 2050 \text{ mm}$



排気ダクトの穴あけ位置

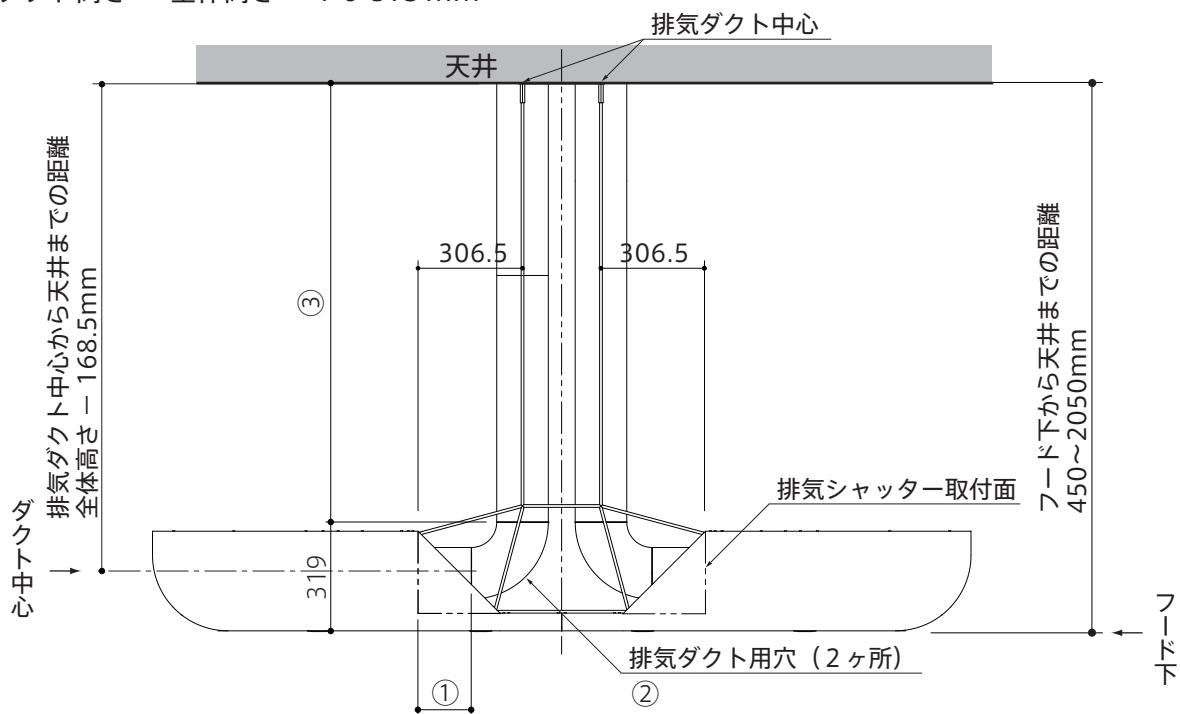
□天井穴あけ

- 1 製品を取付ける天井面の指定位置に穴を開けてください。
 - 2 穴部周辺を補強桿で補強してください。
- ※ 天井補強桿は、野縁・野縁受け等に固定してください。



□排気ダクト計算式

$$\text{排気ダクト高さ} = \text{全体高さ} - 168.5 \text{ mm}$$



【ステンレスダクト使用の場合】 (以下はあくまでも参考値となります。)

参考メーカー：栗本鐵工所

型式：クリモトステンレスダクト

①ストレートシームダクト型 (Φ150) = 150 mm

②90° ベンド管 (Φ150)

③ストレートシームダクト型 (Φ150) = フード下から天井までの距離 - 319 mm

□排気ダクトの取り出し

- Φ150の排気ダクトを、指定位置（「天井穴あけ」参照）に取り出してください。

□電気工事

- 補強桿または野縁等に、専用コンセントを2ヶ所設置してください。（交流 単相100V）

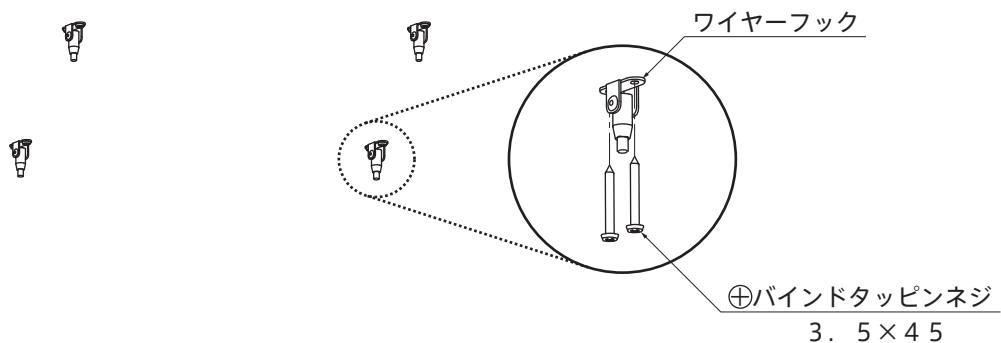
製品の取付け

1 ワイヤーフックの取付け

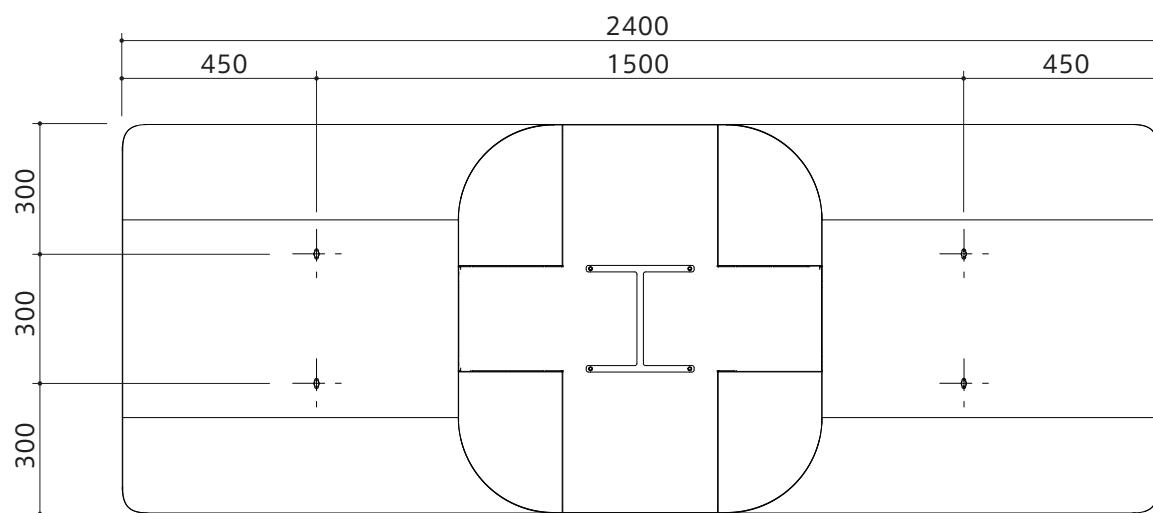
※あらかじめワイヤーフックの取付位置に取付桿があるかを確認してください。

・⊕バインドタッピンネジ3.5×45（各2ヶ所）にて天井の指定位置にワイヤーフックを4ヶ所取付けます。

※必要な場合は、アンカーなどを使用してください。



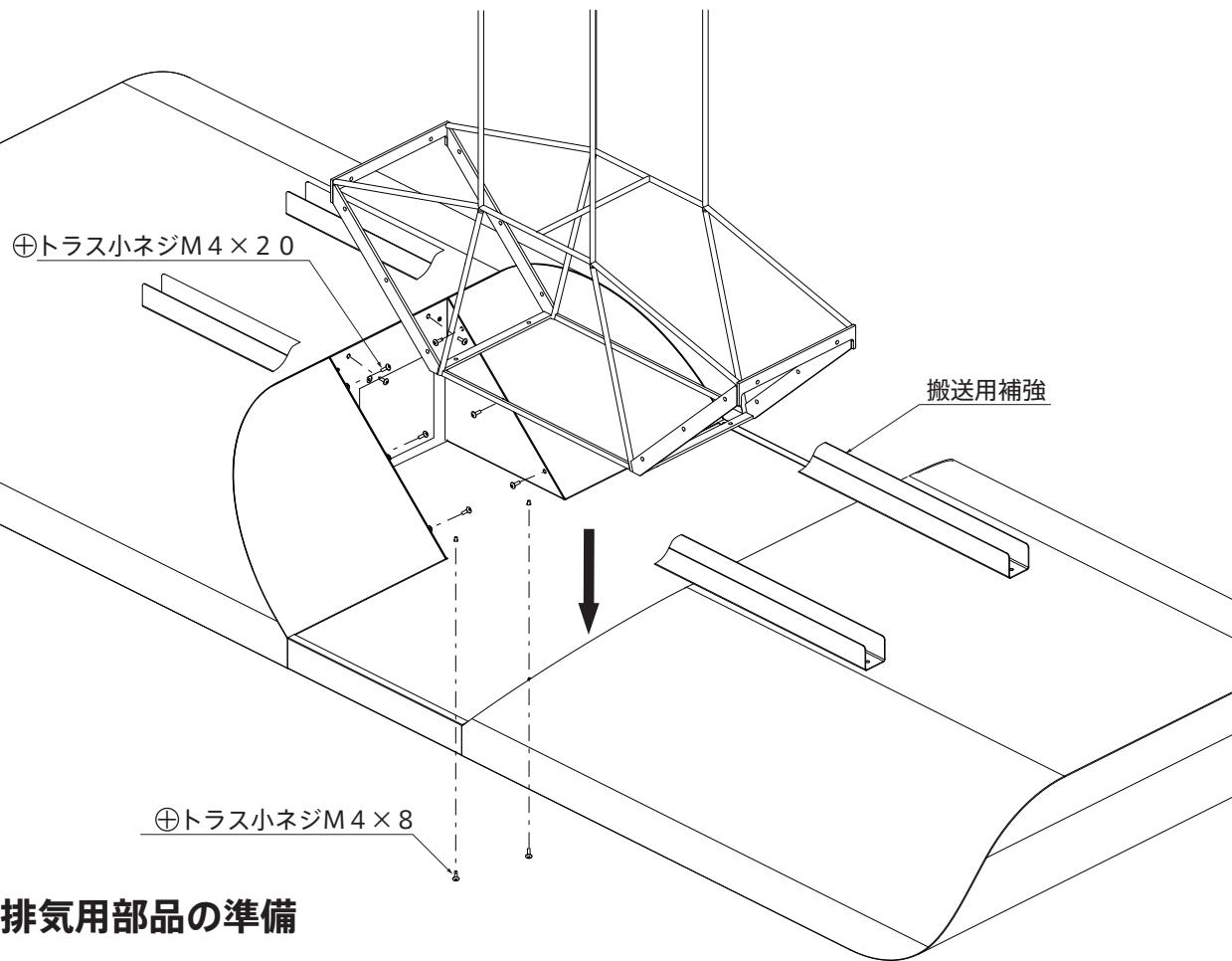
■ワイヤーフック取付位置（平面図）



2 トラスフレームをフード本体へ取付け

- ・トラスフレームを本体中央部へ合わせ、付属の \oplus トラス小ネジM4×20（16本）、 \oplus トラス小ネジM4×8（4本）にて固定します。

※最初から本体に取付いているネジは仮のネジですので、取り外した後に付属のネジにて固定してください。
※搬送用補強は取り外さず、フード本体を吊り下げるから取り外してください。



3 排気用部品の準備

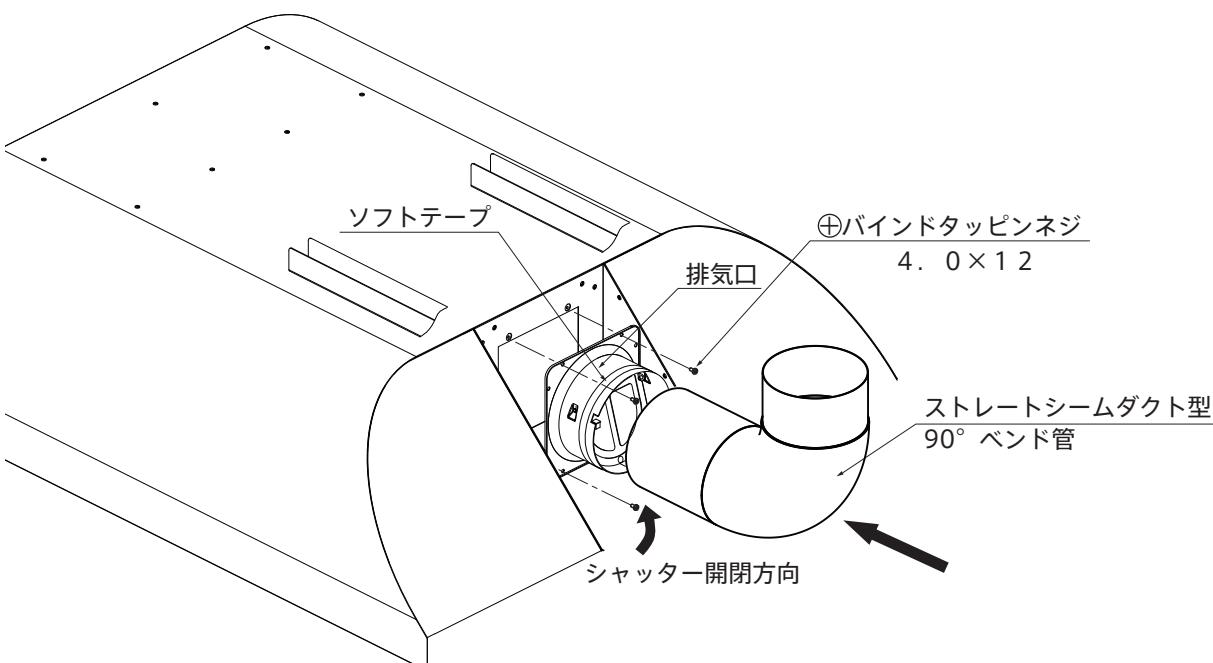
- ・シロッコファンを固定している \oplus バインドタッピングネジ4.0×12（4ヶ所）を外します。

・排気口に付属のソフトテープを貼ります。

・さきほど外した \oplus バインドタッピングネジ4.0×12にて、排気口を取付けます。

※参考のステンレスダクトを使用する場合はステンレスダクト管を90°ベンド管まで先に排気口へ取付け、風漏れ防止処理を行ってから、排気口を本体へ取付けます。

※排気口に付属の説明書に従い、シャッターの開閉方向に注意して取付けてください。



4 フード本体の取付け、ターンバックルナット固定

・トラスフレームに付属しているターンバックルナットを使用してフード本体を天井へ固定します。
※ターンバックルナットには右ネジと左ネジがあります。

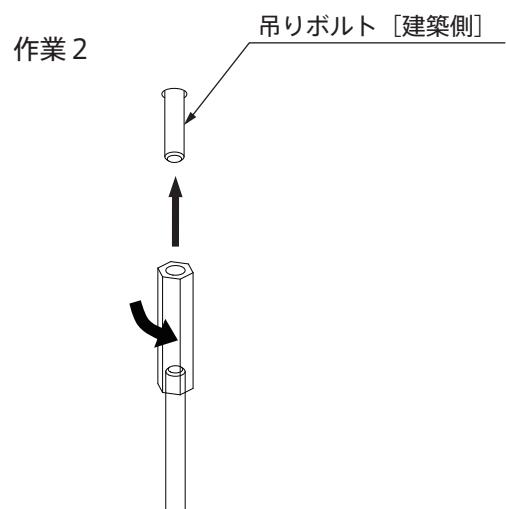
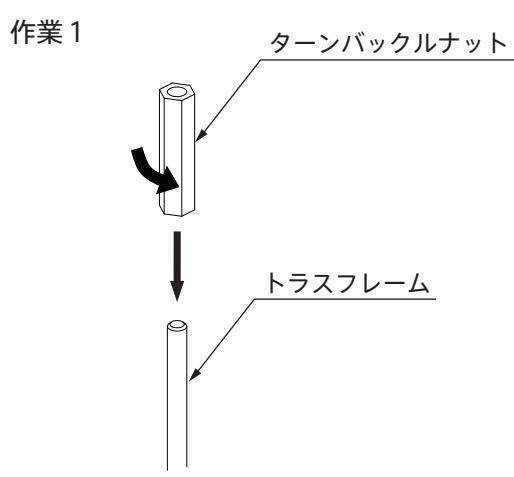
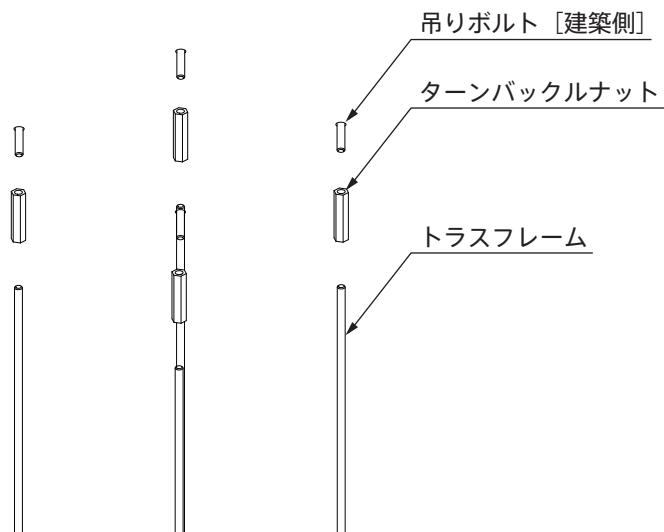
左ネジ側をトラスフレーム側、右ネジ側が天井から垂れている吊りボルト側となります。

・トラスフレームへターンバックルナットを4ヶ所締め込みます。 (左ネジ側) (①)
※トラスフレームへの締め込み量は4本共5mmとしてください。 (ネジ全長25mm)

・フード本体を持ち上げ、天井から垂れている吊りボルトへターンバックルナットを締め込みます。 (②)
※フード本体は重量があるため、最低5人以上で作業をしてください。

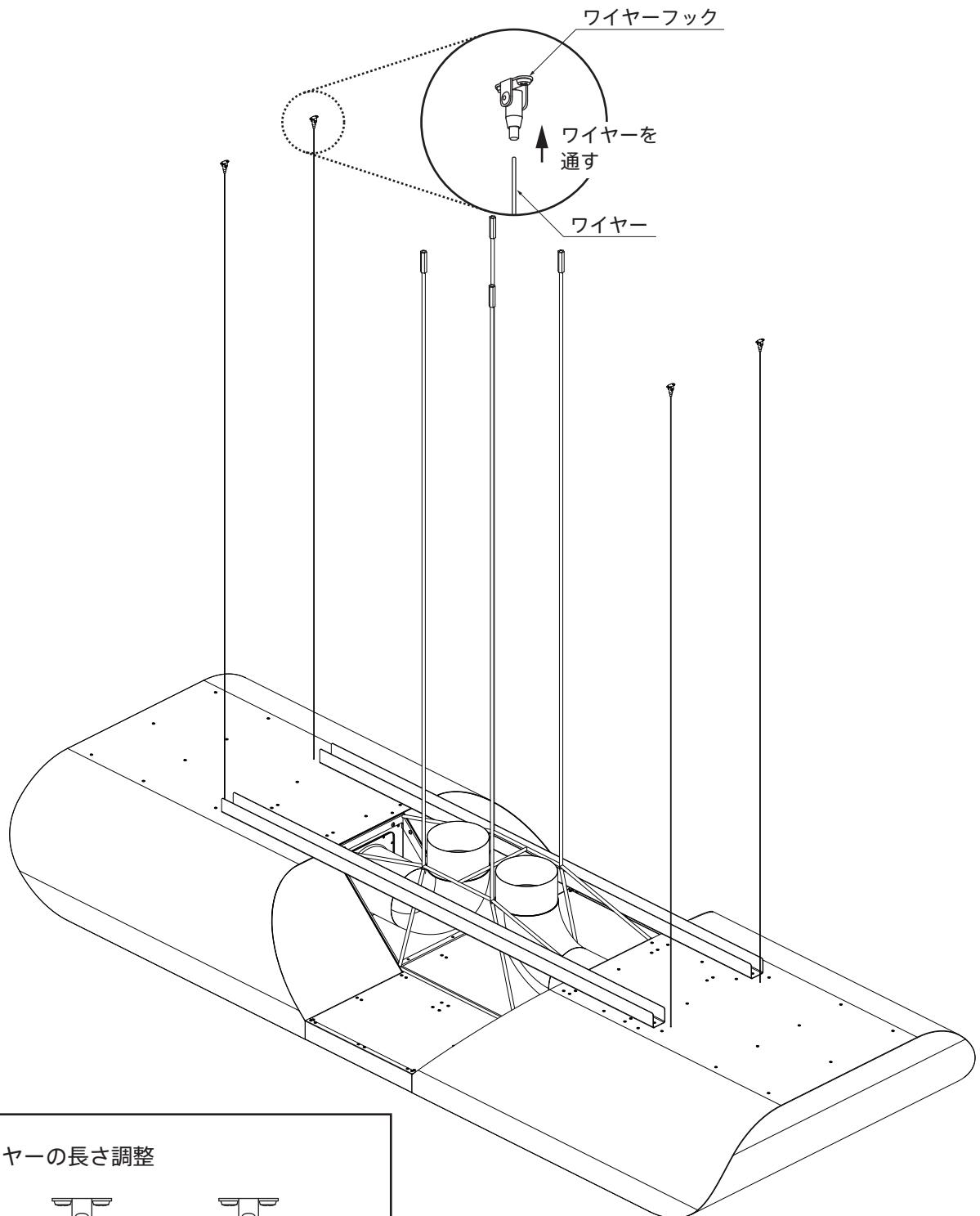
※ターンバックルナットを締める方向は左回しとなります。

※ターンバックルナットを締める際は、4本均等に締めてください。

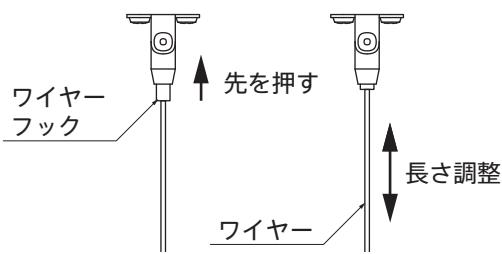


5 ワイヤーの取付け、レベル調整

- 天井に取付けたワイヤーフックにフード本体から出ているワイヤーを通します。
- ワイヤーの長さを調整し、フード本体のレベルを調整します。



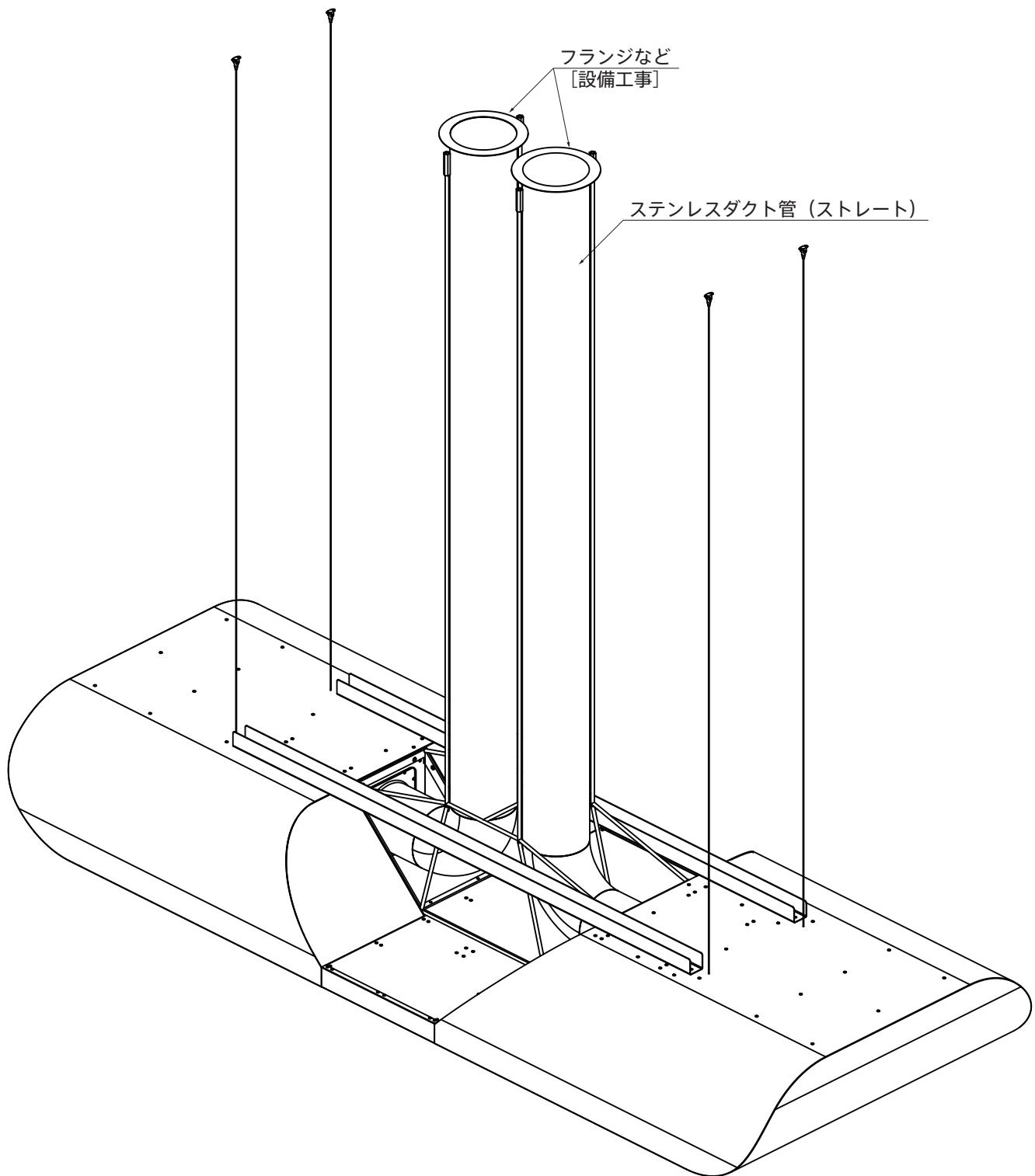
ワイヤーの長さ調整



- ワイヤーフックの先を押しながらワイヤーの長さを調整します。

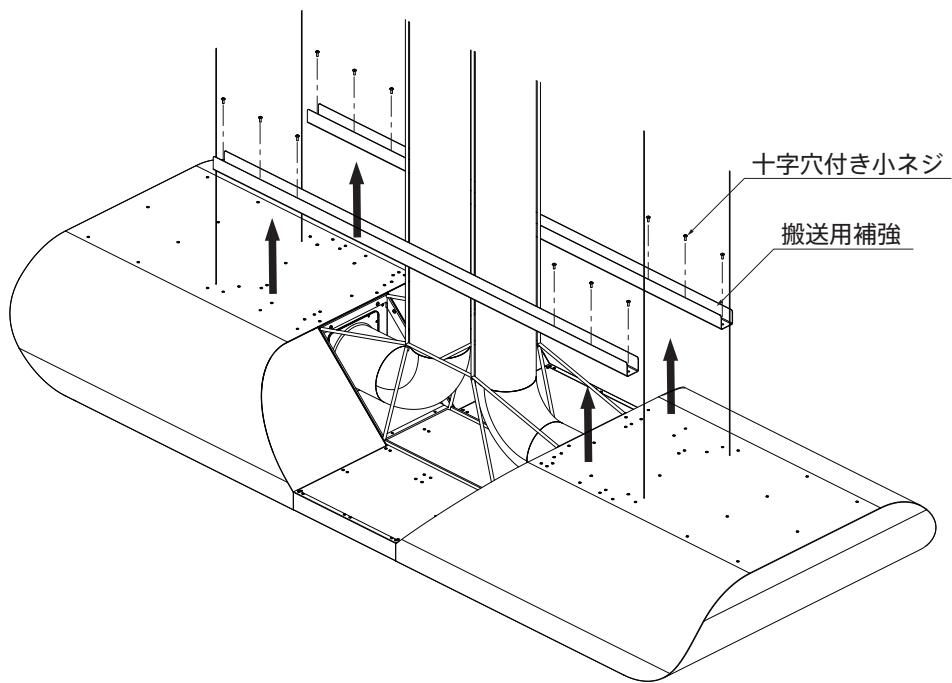
6 排気ダクトの接続

- ・90° ベンド管から天井までのステンレスダクト管（ストレート）を取付けます。



7 搬送用補強の取り外し

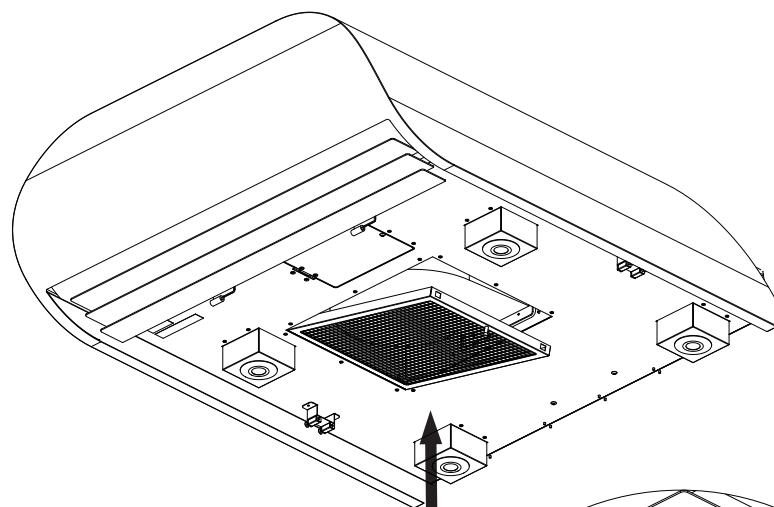
1. フード本体に取付いている搬送用補強を取り外します。
十字穴付き小ネジ（12ヶ所）を外し、搬送用補強を取り外します。



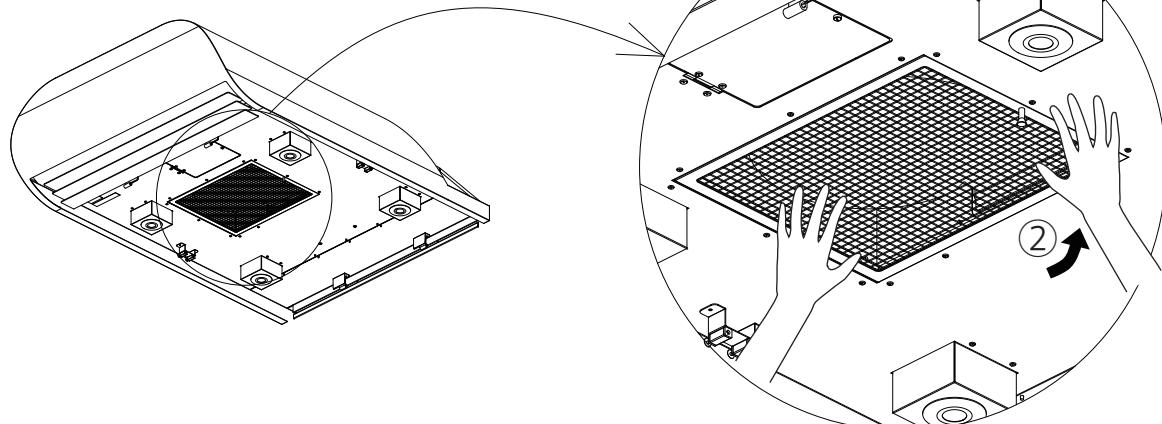
8 グリスフィルターの取付け

1. フード本体下側よりグリスフィルター取付開口部のバネとグリスフィルターの穴を合わせます。
2. 1の穴へ合わせた状態でグリスフィルターを矢印方向②へと押し込みます。

作業 1

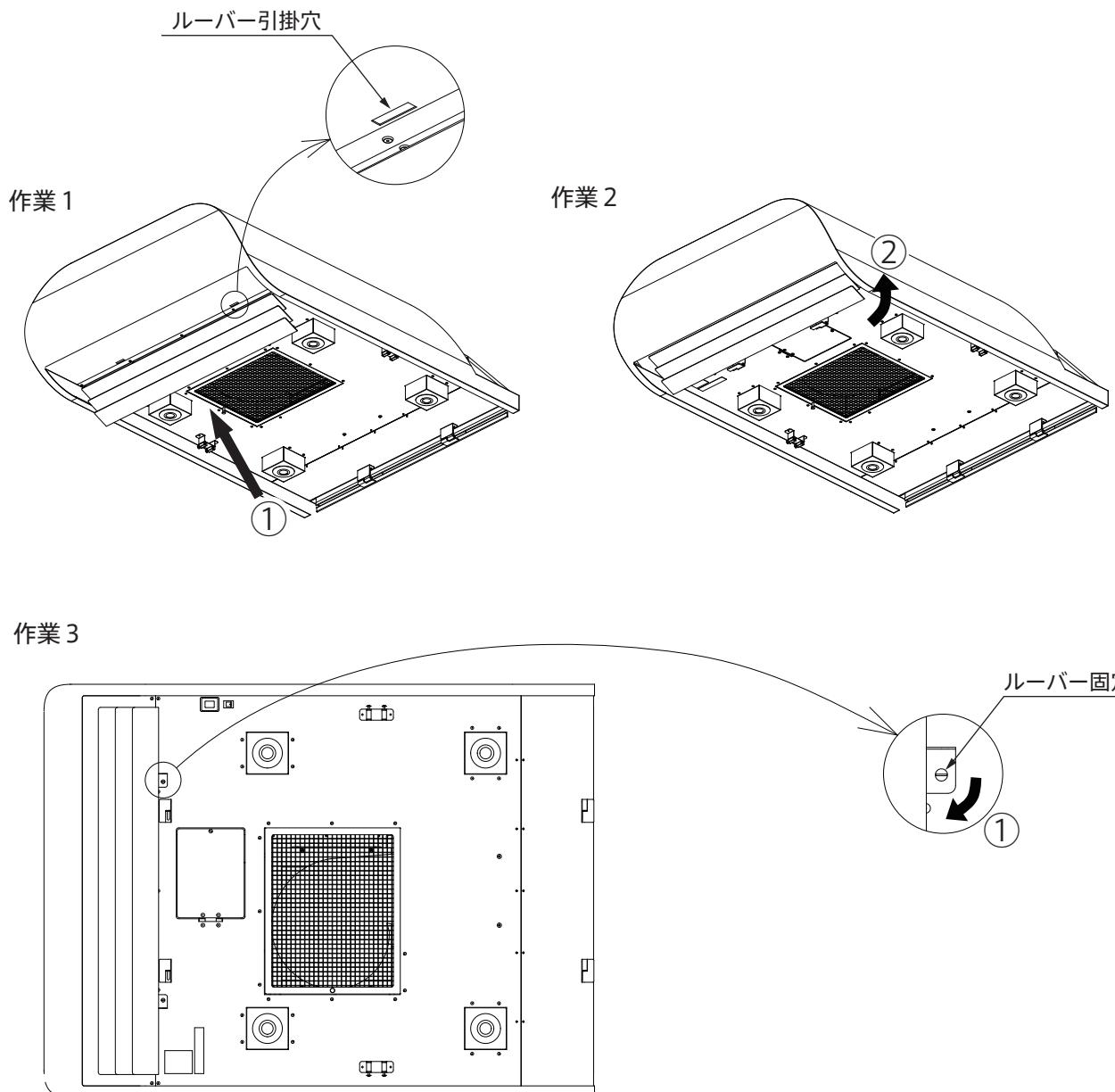


作業 2



9 ルーバーの取付け

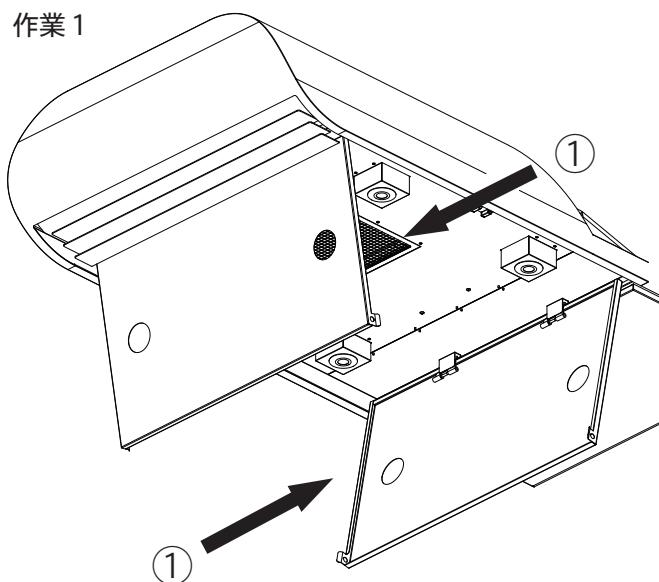
1. ルーバーをルーバー引掛穴へ差し込みます。
2. ルーバーをルーバー引掛穴を支点に矢印方向②へ回転させます。
3. ルーバー固定ネジにてルーバーを本体へ固定します。



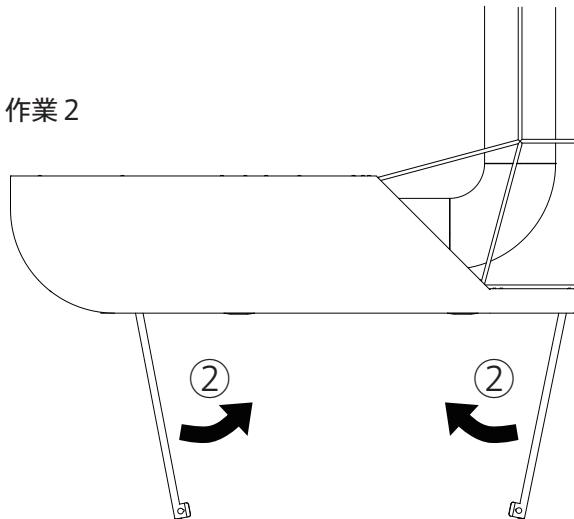
10 整流板の取付け

1. 整流板を抜き差しヒンジの受部に合わせて矢印方向①へスライドさせ、取付けます。
2. 整流板を矢印方向②へ押し上げます。
3. 整流板が固定金具へはまつたことを確認してから手をゆっくりと離します。 (③④)

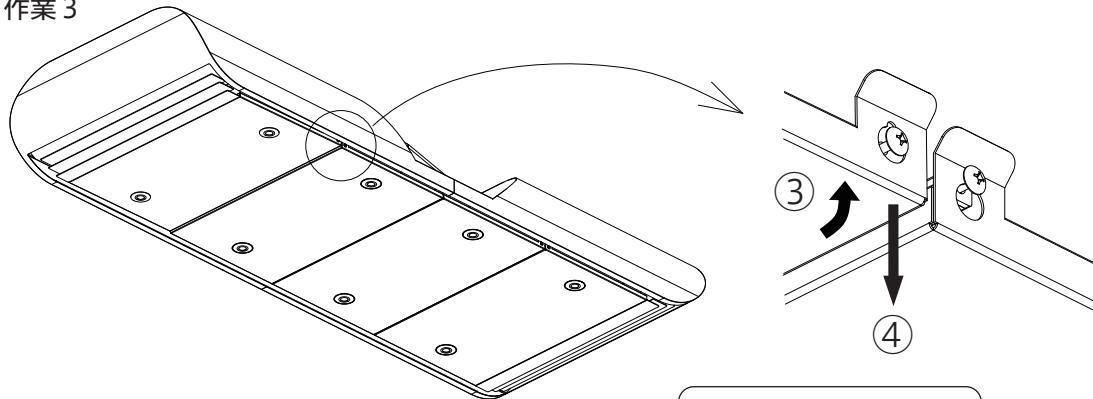
作業1



作業2



作業3



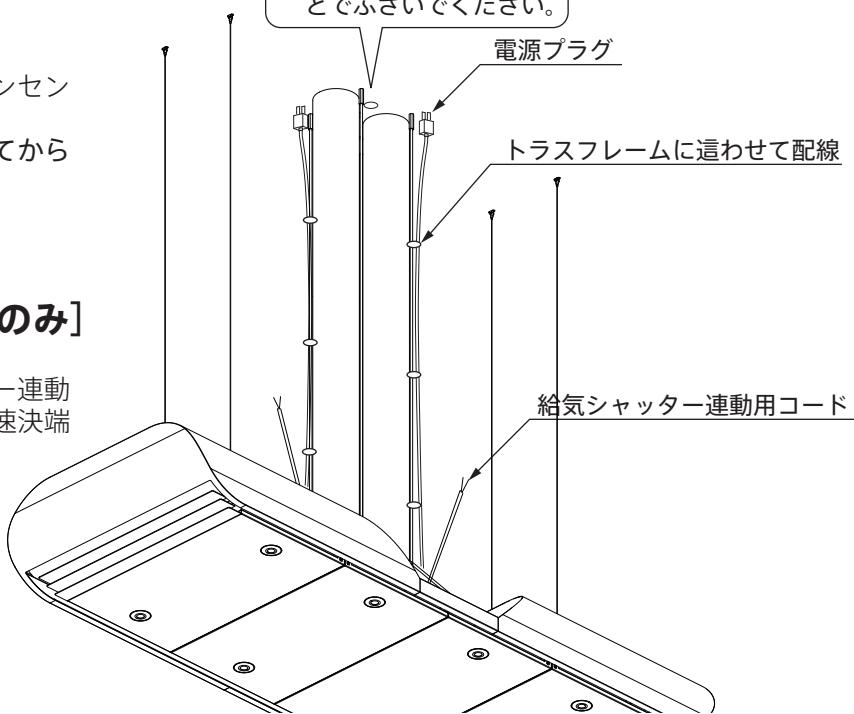
11 電源プラグの差し込み

- ・電源プラグを天井内に取付けられたコンセントに差し込みます。
- ※必ず分電盤のブレーカーを「切」にしてから行ってください。
- ※アース（D種接地工事）を取付けます。
- ※もう片面も同様に行ってください。

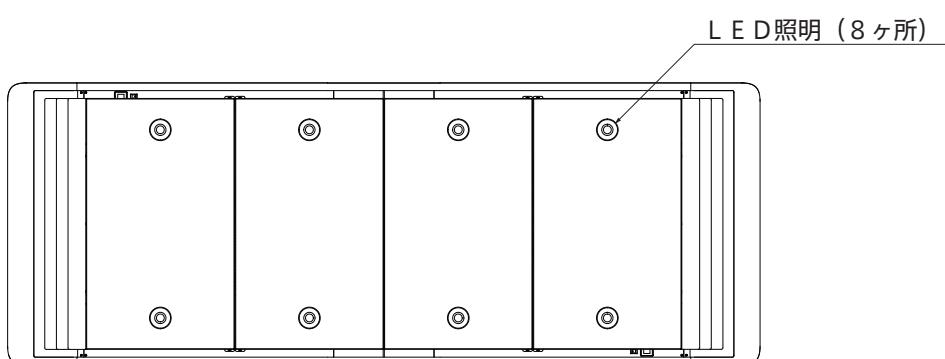
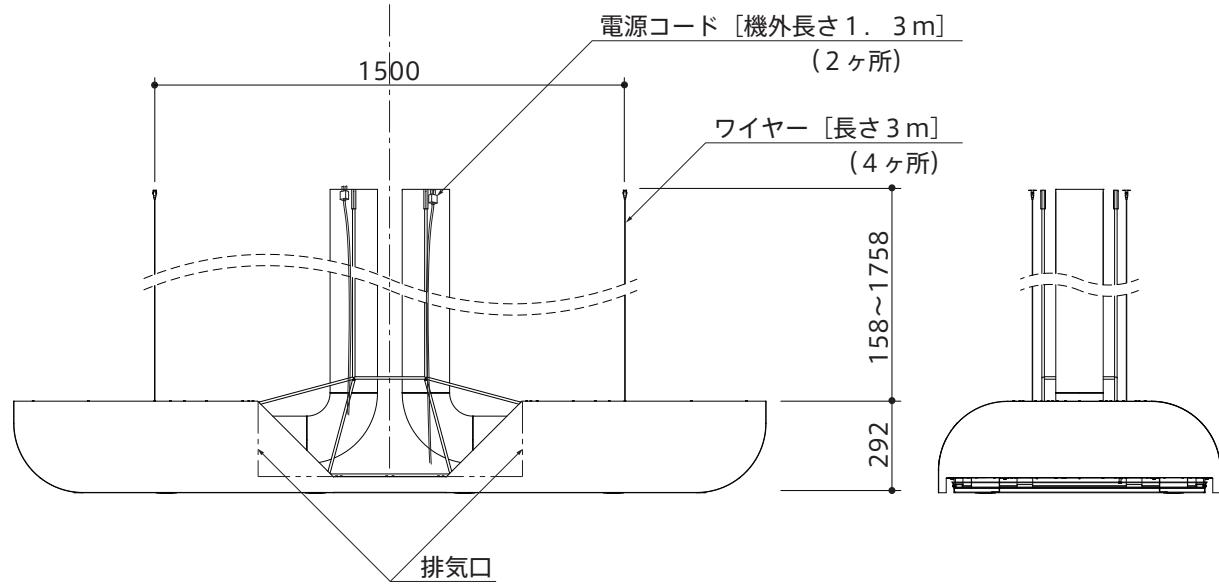
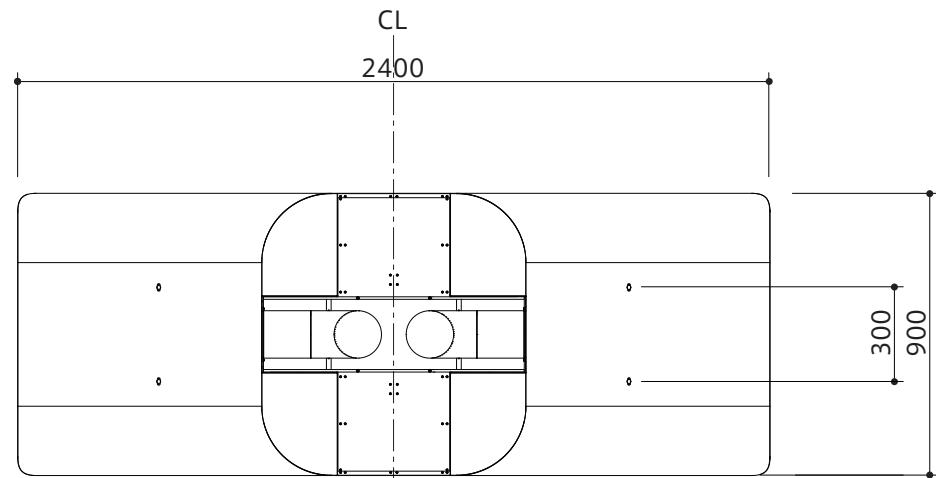
※ 結線 [給気連動対応の場合のみ]

- ・フード本体から出ている給気シャッター連動用コードと給気シャッターのコードを速決端子等で結線します。
- ※もう片面も同様に行ってください。

※電源プラグを差し込み後、配線孔キャップなどでふさいでください。



製品寸法図



取付・設置後の点検・清掃

- ・「安全上のご注意」および説明書の内容通り取付・設置されているかを点検し、異常の無いことを確かめてください。
 - ・スイッチを入れて動作を確認してください。スイッチの操作と運転状態については取扱説明書をご覧ください。
 - ・製品が変形しないよう、ゆっくり養生を剥がしてください。
 - ・表面の汚れ、ほこりを拭き取りながら、傷等の損傷が無いかを調べてください。
- ※シンナー・みがき粉・アルカリ性洗剤等は使用しないでください。
表面塗装の剥がれ、変質、変色の恐れがあります。

トヨーキッチンホームページのオンラインショップ「SHOP TOYO KITCHEN」でオプションパーツをご購入いただけます。
詳しくは、store.toyokitchen.co.jpをご覧ください。

トヨーキッチンスタイルカスタマーサービス <https://www.toyokitchen.co.jp/ja/maintenance/>
トヨーキッチンスタイルカスタマーサービスでは、保証期間内、経過後のメンテナンスやパーツの販売を承ります。

お問い合わせ先

T E L 050-3852-2392 〈受付時間 平日9:00~18:00 (※土・日・祝日・夏期・年末年始は除く)〉
メール tks@toyo1.toyokitchen.co.jp
F A X 0575-23-1262

スマートフォンからでも
修理／メンテナンスの
依頼ができます。

アクセスはこちらから →

